

初めて会う方と協力して公演を成功させる楽しさ



みの～れ支援隊

かりや みえこ
狩谷 美恵子さん

「大好きな劇団四季の公演に関われました」と
笑顔で語る狩谷さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.172

新年明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひいたします。今年も強い金運力を持つとされております。今年も36年に一度訪れる最強金運の年とも言われています。コロナ禍で心配もありますが幸せが届くといひです。今回は、みの～れ支援隊のメンバーで小美玉市堅倉地区にお住まいの狩谷美恵子さんを取材します。

2022年1月9日、小美玉市四季文化館みの～れで2年ぶりに劇団四季の公演が開催されました。演目は新作『はじまりの樹の神話』こそあどの森の神話』です。3歳になったばかりのかわいいお客様から大人の方まで、東京にある劇団四季の劇場に行かなくてもみの～れで素晴らしい公演を観る事ができました。

この日、公演スタッフのメンバーとしてお客様をお迎えした狩谷美恵子さんに、みの～れ支援隊に参加するようになったきっかけを聞いてみました。

「かすみがうら市から主人の生まれの堅倉に越してきて10年になります。仕事が常勤からパートになり、精神的にゆとりができたので、地元で何かボランティアができたらいなと思っていました。演劇やミュージカルを観るのが好きなのですが、みの～れでいろいろな催し物やっていることを知らなかったんです。広報誌でみの～れに支援隊

があることを知り、時間のあるときに関われるのが魅力だと思ひ参加するようになりました」と笑顔で話す狩谷さん。

初めて参加したボランティアが小美玉市さくらフェスティバルだったという狩谷さんは、「とにかく緊張と、人の多さに疲れだっと思ってました」と話します。「こうして公演があったときに参加すると、いろいろな方に出会えて、皆さんに親切にしてくださいまして、臨機応変に対応できているかな?と思ったり、でもみの～れでたくさんの方と関わるからとても勉強になりますし、ベテランの人に助けてもらっています」と話します。

劇団四季のミュージカルが大好きな狩谷さんは「施設で働いているので、子どもたち数人でみの～れに公演を観に来たことがあります。東京に『ライオンキング』を観に行ったこともあ

ります。いつも帰りの電車の中で寝てしまふ子どもたちが感動して寝ないんです。すごいですよ。四季の劇場で観ると、こうして全国をまわっている公演は少し内容が違うのですが、小美玉で劇団四季が観られるのは素晴らしいことです。実は大好きな劇団四季ですが、前回の小美玉公演は支援隊に入ったばかりだったのでボランティアは申し込まなかったんです。今回はお手伝いができて良かったです」と笑顔で話してくれました。

狩谷さんは「今後もマイペースでやれるときに関わりたいと思います。今度は誰に会えるのかな?とか考えるのも楽しいですね。支援隊はボランティアでも目指しているところはみんな同じだと思ふので、色々教えてもらいながら活動していきたいと思ひます。コロナ禍が落ち着いたらもっと協力したいと思ひます」とほほえみました。

(藤田佐知子)